

【団体名】 安城市立明和小学校

【事業名】 明和小省エネプロジェクト

【事業の目的】 児童ボランティアによる省エネプロジェクトチームを立ち上げ、明和小の省エネ活動を推進するために「明和小5つのエコ活動宣言」の具現化を目指す。

【実施内容】

1 グリーンカーテンの作成

＜方 法＞

本館教室前にツルレイシ、アサガオ、フウセンカズラを植え、グリーンカーテンを作成した。これら3種類の植物を混在させることにより、お互いの葉の隙間や丈の違いを補完し合い、より遮光効果が高く、見た目にも立派で、豊かな緑のカーテンを完成することができた。

＜効 果＞

本校の校舎は南東向きに教室窓が開いている。そのため、夏場は早朝より直接教室内に朝日が差し込み、空調設備もないため、室温上昇が著しい。しかし、グリーンカーテンの生育後は、繁茂した葉によって直射日光が遮られるとともに、葉からの蒸散による放熱効果で過度な室温上昇が抑えられた。実際にグリーンカーテン効果の及ばない教室に比べ、教室内温度は、体感上明らかに低く感じられ、猛暑の7月、残暑厳しい9月でも児童はそれほど暑さに悩まされることなく、学習に取り組めた。また、児童が植え、水やり等の世話をすることで、環境意識の高まりが見られる

2 省エネ強調月間の実施

（1）掲示板の充実

省エネプロジェクト掲示板を設置し、全校児童の意識の向上に努めた。全校で省エネ活動に取り組んだ成果を実感できるようにしたいと考え、毎月の電気・水道の使用量を「安城市資源・エネルギーチェックシート」の基準である平成22年度と比較する掲示物を作成したり、エコエコ月間の学級目標や成果を発表したりした。

（2）児童集会の実施

後期のエコエコ月間では、児童リサイクル委員会と協力して児童集会を行った。児童集会では、日頃委員会活動で集めているリサイクル回収品（ペットボトル・空き缶・牛乳パックなど）に関わるクイズをしたり、各学級ごとに集めた空き缶を利用して空き缶積みゲームをしたりして、楽しみながら、エコ活動への意識を高めることができた。

校舎屋上まで伸びたグリーンカーテンと葉陰になって涼しい教室内



省エネ活動を啓発する掲示板



全校の意識を高めるリサイクル集会



【成果・課題】

環境活動助成金を活用することで、児童が企画したプランを実現することができ、明和小省エネプロジェクトの活動が充実した。強調月間を設定して、「明和小5つのエコ活動宣言」の具現に取り組むことで、教職員・児童生徒・保護者の意識を高めることができた。また、グリーンカーテンは、正門から入ってもっとも目に付く場所で大きく成長したため、来客へのアピールにもなり、本校の活動を校外へ広めるのに大きく貢献した。

こうした取り組みの成果の1つとして、25年度1月期現在までの電気の使用量は、安城市小中学校の中で最小とすることができた。今後も継続して活動することで、環境に配慮した生活への意識を高め、実践につながる態度を育んでいきたい。